

プレス加工機で金属を加工する技術者



・ サンニサン(階上町)①

日常生活に欠かせないアイテムや工場のプラン
ト設備をはじめ、幅広い
分野で利用されている金
属製品。その一つ一つを
作り出す加工方法には、
切削、研削、プレス、溶
接といった工程があり、
モノづくり大国・日本を

階上町に本社と工場を構える「サンニサン」は、ステンレスや真ちゅう、アルミニウム、銅といった非鉄金属の加工業者。「限りない金属の芸術性」を企業テーマに掲げ、金属加工によるモノづくり

■ 金曜日企画 ■

モノづくりの現場から

北奥羽編

高度な技術 一品モノ製作

場の所在地は階上町角柄
折平11の107。199
2年創業の有限会社。本
戸征二社長。従業員数5
人。非鉄金属の加工、製
品製造などを手掛ける。



松川さんの誕生日が3月23日だったことに由来する。

1992年創業。前社長で現在は営業・窓口担当の佐藤洋子さん(72)が、有志の技術者3人と共に会社を立ち上げた。そのうちの1人、故・松川隆雄さんは、板金(金属製品製造関係分野)で国の高度熟練技能者に認定されるほどの腕を誇った職人だった。企業名にした「サンニサン」は、

立地環境を生かして青森、岩手両県を主要な営業エリアとしているが、オリジナル製品を作り上げる「一品モノ製作」の高度な技術力が業界内で知れ渡り、東北地方以外から発注を受けることも少なくない。

るために高い技術力が必要になると強調する。
現在は建設業や製造業を中心に、食品、医療、官公庁といった多様な業界との取引を拡大している。ニーズに応える顧客サービスを重視して信頼を得し、継続的に加工

佐藤さんは「今後の運営や顧客対応、従業員の将来を考えたときに、以前から取引関係にあつた大輪工業に事業を受け継いでもらうのが一番だと判断した」と理由を説明する。スケールメリットを生かし、企業活動の幅を広げるのが狙いだ。新たな体制で、さらなる飛躍を目指している。

加工機やプレス加工機などの機械設備を導入し、
0・8~5ミ程度の厚さの金属加工を手掛ける。
切断、曲げ加工、溶接などを駆使して一から製品を作り上げていく。特に需要の高いステンレスの極薄加工を得意とし、顧客のアフターフォローにも力を入れている。

非鉄金属加工の分野で成長を遂げてきたサンニサンは今年3月、大きな決断を下した。鉄工業の「大輪工業」（八戸市）に事業譲渡し、同社社長の木戸征一氏（44）が經營を引き継いだ。

金属加工で作り出したさまざまな
パーツのサンプル

松原一茂